

攻

受

オカルトBL

貴廷
方と
で

For Adults Only For Adults Only
R18
For Adults Only For Adults Only



「生きるとは…」



「大抵の人はただ『存在』しているだけである」



…異国の作家の言葉だそうですね

私はこの言葉についてよく考えます

果たして自分は「生きている」と言えるのだろうか…



「この世で一番稀な事だ」



…さあ、つまらない話はこのくらいにして

お茶にしましょうか

いつもの駅から電車に乗り込み
3つ先で降りる

しばらく歩くとポツンと一軒の
藤が美しい庭の洋館が建つ…
そこが先生の家だ

先生のお話は時々
難しいと感じることも
ありますが…

僕はとても好きです

見聞が広がります



気づくことがあったり…
本当に勉強になります

家で反復して
考えたりすると

僕は馬鹿なので…
正直よくわからないと
感じる時もあります



ふふ、本当ですか？

こんな話…若い貴方には
つまらないでしょう…

そ、そんな事
ないです！

先生は、とても穏やかで
聡明で…



そんな風に
言ってくれるのは
貴方だけです

伏した睫毛が美しい



皆、私を変人だと言って
誰も寄り付きませんから

そんなっ！

それはその人達が
分からず屋なだけです！

休みの度にここへ訪ね
先生の話を聞くのが
僕の楽しみだ



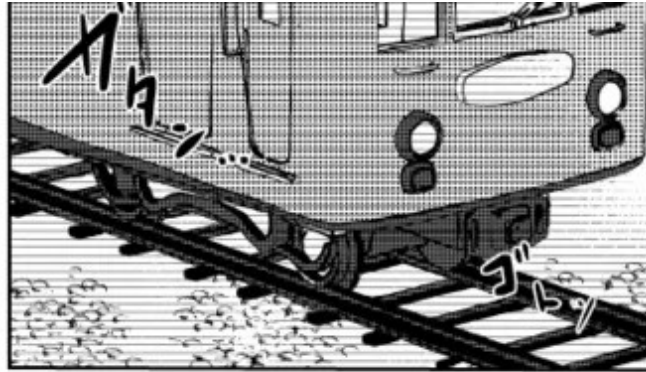
何事にも興味深く
知ろうとする姿は
とても生き生きとしていて



ふふ…
ありがとう

貴方はよく自分は
馬鹿だと言いますが…

ちっとも馬鹿なんか
ではありませんよ



貴方のような人が
生きていると
言えるのでしょうね



僕は…

このままじゃちっとも
追いつけないや…



僕もいつか
あんな風に…



先生に
恋している

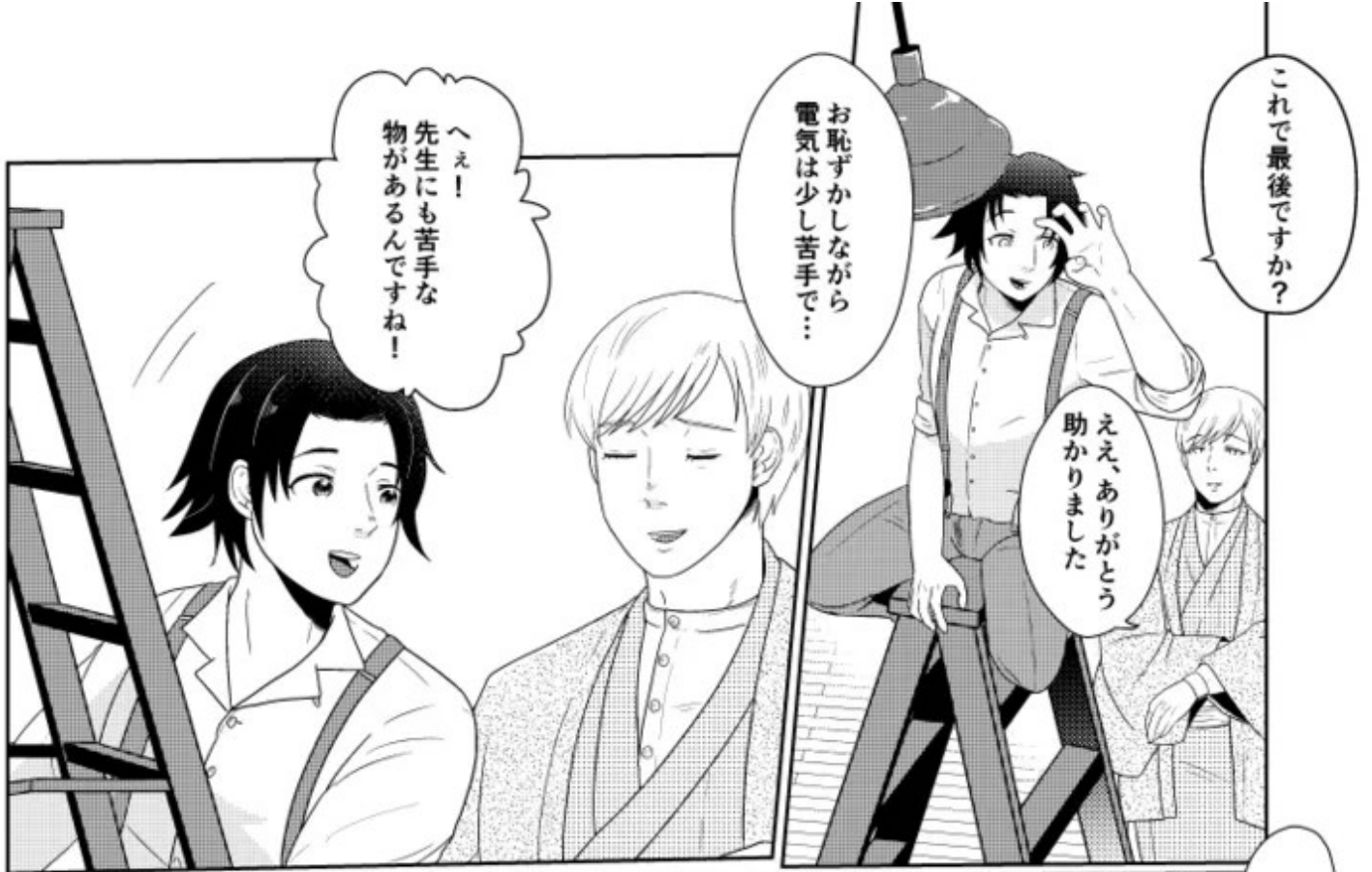


シヤンとして
いなければっ！

せめて！

少しでも先生に
近づきたいのだ

…これでしょう



これで最後ですか？

お恥ずかしながら
電気は少し苦手で…

ええ、ありがとうございます
助かりました

へえ！
先生にも苦手な
物があるんですね！



フフ…

落胆しましたか？

先生のそんな
可愛らしい一面が知れて

いえ！とんでもない！
むしろ…

とても嬉しいんです

す！すいません！
失礼が過ぎました！

いえ、
いいですよ

—…でも

少し、
照れますね







今日は…



夢のような
1日だった…

もっと…



ぜひ…
もっとたくさん

会いたくさんして下さる



さあ…

もっとこちらへ…

あの僅かに熱を帯びた視線が
激しく僕の劣情を誘う



たくさん、
会いにいらしてください





この前見ちゃったんだよねえ駅でポク♡っとしながら歩いてるとこよ

ほ、ホントですかあはずかしい

今日も朝からソワソワして…逢いに行くんでしょ？

御察しの通りで…

浮かれるのは良いが仕事はちゃんとしろよ！

全然こっちに気づかないモンだから傷ついちゃったよ



で、愛しの君はどこに住んでるの？

ええと…

夢前駅から丘側に…3つ先の駅から少し歩いたところですよ

ズツ



では、今日はこれで失礼します！

…？

夢前駅から丘側…？

あれからというものは…



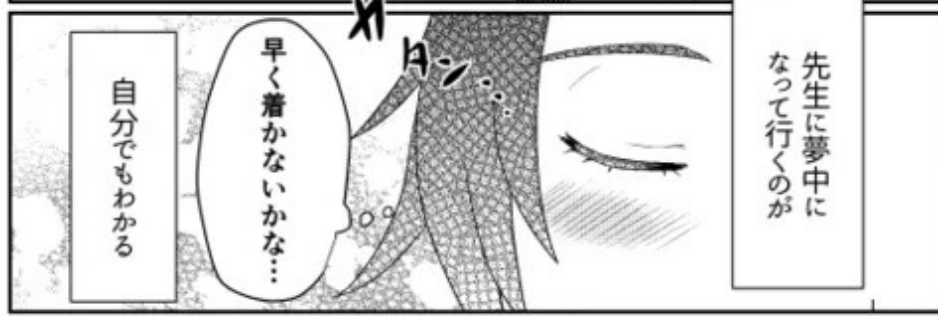
お渡ししたい本があるんだ...

日に日に...



最近はこうして仕事が終わった日にも会いに行くことが増えた

今日は...



先生に夢中になっ
て行くのが

早く着かないかな...

自分でもわかる



こんにちは

お待ちしてましたよ



先生!



...嗚呼!

今日はこれを是非差し上げたくて...
僕じゃ読めなくて...

ああ...これは珍しい洋書ですね

このままずっと
一緒にいられたら！

…おいっ！
聞いているのか!?

…え？

フラフラ歩いて
声をかけても気づかないし…

お前大丈夫なのか？

おまっ…！どうしたも
こうしたも…！

ボクらは社の用事で出かけて
いたんだけどね、
そしたら君が通りかかって…

あれえ先輩方…
こんな休日に
どうしたんですかあ？



ええっ
本当ですか!?

これから人に
会いに行くところで
つい考え事を...

前に言っていた家か?

はい!

夢前から丘側に
3つ先の?

?そうですが?

.....

.....



夢前駅は終着で...

その先に駅なんて
ないだろう

えっ

もっとたくさん 会いに行ってください

…そもそも、^{この町}夢前自体が丘の上の町だし…

その先にあるものなんて崖か山かくらいで…

人が住めるような場所なんてない

そ、そんなはずは…

何かの病なんじゃないか…？

それとも
悩み事が？

違います！

本当に会いに行ってるんです！！

最近よくポーツと
してるし心配なんだよ

…じゃあ、
どこか他の場所と
勘違いしてるのか？

そうだ、その駅の名前を
教えてくれないか？



電車に乗ってから
家までの道のりも

先生とは、「いつ」「どこで」
知り合ったんだっただか…

どのように帰ってきて
いるのかさえ
思い出せずにいた

「名前」は…?

何も…
何もわからない…

もし

でも確かに先生は
存在している…

先輩たちが言うように
その駅が存在しないのなら

僕は一体今まで何処に
向かっていたと言うのか

声も…
触れた手の感触だって
覚えているんだ…!



わからない

ッ!!

…おや



僕は…今、どうやって
ここまで来たんだ…!



な、なんで…
だって…

今日はもう帰ろうと…







嬉しい…

あなたの口から
その言葉が聞けるのを…



ずっと、
待っていました

ずっと…



あなたの顔を見て
すぐにわかった



愛しています…





あなたが僕を
愛してくれる



僕があなたを
愛していい

そのたった一つの
真実だけで

ド
ク
グ
あッ…







沢山いらして下さい

ぜひ…



しています

お待ち